

生涯学習・公民館に係る 最近の動向について

仙台市公民館運営審議会

東北学院大学

原 義彦

2024.7.4



1

生涯学習推進と公民館の政策動向を ピックアップ！

1. 持続可能な社会の形成、社会の創造的な発展に資する（担い手育成、環境整備）
2. ウェルビーイングの実現（個人と社会のウェルビーイング、共生社会の実現）
3. 社会教育人材の養成・活躍機会の拡充（社会教育主事、社会教育士、住民等）
4. 社会教育施設の機能強化（地域コミュニティの基盤強化に資する）
5. 教育DX、デジタル化の推進



2

第4期教育振興基本計画（閣議決定、2023年7月）

《今後の教育政策に関する総括的な基本方針・コンセプト》

1. 2040年以降の社会を見据えた持続可能な社会の創り手の育成

一人一人が自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓いていく人。

2. 日本社会に根差したウェルビーイングの向上

ウェルビーイングの要素：幸福感（現在と将来、自分と周りの他者）、学校や地域でのつながり、協働性、利他性、多様性への理解、サポートを受けられる環境、社会貢献意識、自己肯定感、自己実現（達成感、キャリア意識など）、心身の健康、安全・安心な環境 など

ウェルビーイングと生涯学習

誰もが、いつでもどこからでも、誰とでも、自分らしく学ぶことができ、誰一人取り残されず、一人一人の可能性が最大限に引き出され、一人一人の多様な幸せであるとともに社会全体の幸せでもある。

（「第11期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理～全ての人のウェルビーイングを実現する、共に学び支えあう生涯学習・社会教育に向けて～」2022.8）



生涯学習、社会教育がいかに貢献するか



今後5年間の教育政策の目標 (教育振興基本計画,2023)

目標1

：

主として
社会教育

目標8 生涯学び、活躍できる環境整備

目標9 学校・家庭・地域の連携・協働の推進
による地域の教育力の向上

目標10 地域コミュニティの基盤を支える社会
教育の推進

：

目標16

生涯学習・社会教育の今後の方向性 (「第12期中央教育審議会生涯学習分科会における 議論の整理」2023.6より)

- ① デジタル社会への対応 (社会教育施設のデジタル環境、学習履歴のデジタル化 等)
- ② 社会的包摂への対応 (社会的に制約のある人に対する社会教育)
- ③ 生涯学習社会を実現するための社会教育人材の在り方 (地域課題の解決、共生社会の多様な担い手)
- ④ 社会人のリカレント教育 (リスクリングからリカレント教育)

社会教育施設の機能強化 (教育振興基本計画,2023)

社会教育施設の機能強化に向けて、社会的包摂の実現や地域コミュニティづくり、地域課題の解決等において社会教育施設が果たすべき役割を明確化することなどにより、地域の教育力向上を図る。特に、公民館等における地域のコミュニティ拠点機能の強化を図る観点から、子供の居場所としての活用、住民相互の学び合い・交流の促進、関連施設・施策や民間企業等との連携を推進するとともに、地域住民や有識者からの外部評価を活用した運営の改善、公民館等の社会教育施設への社会教育士の配置を推進する。

文科大臣諮問（2024.6.25）→中央教育審議会

1. 社会教育人材を中核とした社会教育の推進方策

社会教育人材を中核とした目指すべき社会教育の在り方、社会教育主事・社会教育士の役割・位置付けの明確化、社会教育主事・社会教育士の養成の在り方 等

2. 社会教育活動の推進方策

地域と学校の連携・協働の更なる推進方策、公民館、図書館、博物館等における社会教育活動の推進方策、青少年教育施設等における青少年体験活動の推進方策、地域コミュニティに関する首長部局の施策や多様な主体が担う活動との連携・振興方策、共生社会の実現に向けた障害者・外国人等を含めた社会教育の推進方策 等

3. 国・地方公共団体における社会教育の推進体制等の在り方

社会教育を総合的に推進するための国・地方公共団体の体制の在り方、社会情勢の変化を踏まえた社会教育に関する現行法令の在り方 等

「仙台市市民センターの施設理念と運営方針」の 第三次見直しに向けて

- ① 生涯学習・社会教育に係る国や県の動向を確認する。
- ② 国や県の動向に先行する。
- ③ 仙台市らしさを反映する。（震災への対応を通して＝地域防災。学校との連携協働。政令市の公民館として、など）
- ④ 県都の公民館として。

